

テレビ静岡 平成28年4月度 番組審議会概要

平成28年4月7日(木)
14時00分～15時00分
テレビ静岡本社 3階会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 花森 崇行 五十住和樹

— 議 題 —

番組名 「“想定外”静岡に迫る危機 —東日本大震災5年—」

放送日時 平成28年3月5日(日) 16時00分～16時55分
【再放送 平成28年3月8日(火) 25時10分～26時05分】

— 番組内容 —

今日の番組審議会は、今年3月5日に放送した「“想定外”静岡に迫る危機 —東日本大震災5年—」について審議した。

番組は、発災から5年がたった東北の現状や人々の営みをレポートするとともに、東海地震が想定される静岡の課題を探る内容。

— 審議概要 —

- ◎「全体的に中身が濃く、勉強になった」
- ◎「冒頭のCGは海底の亀裂や段差など、地震のすさまじさを伝えてくれた」
- ◎「5年が過ぎ忘れがちだった震災の記憶を呼び起こす良い企画だった」
- ◎「遺体安置所で活動していた方の言葉は、体験者でなければ伝えられたい内容で、心をしめつけられた」
- ◎「静岡の巨大地震で、想定される各地の震度や津波の高さなどが紹介されており、県民の意識を高める意味で良かった」

- ◎「静岡の地震では10分以内に津波が来る。地元の対策を考える必要性を感じた」
- ◎「『死者を出さない』ための対策を本当に考えなければならないと思った」
- ◎「複合して影響が出る大きなテーマだけに、全体として総花的になってしまった」
- ◎「司会者男女の進行がスマート過ぎて、かえってぎくしゃくした間が感じられた」
- ◎「出演していた女子アナの靴がピンヒールで違和感を覚えた」
- ◎「地震防災センターの利用者が震災以降減少しているのは恐ろしい事実だと思う」
- ◎「構成は『震災への思い』『備え』『未来を語る』の3要素だったが、CMで分断されて分かりにくくなってしまった」
- ◎「深い取材が分かる内容でもったいない、30分番組を3回やった方が良い」
- ◎「沼津から気仙沼に移住したダイバーの紹介は、未来に繋がる要素として良かった」
- ◎ 浜岡原発及び避難訓練の項目については、賛否が分かれた。

次回の番組審議会は平成28年5月12日（木）の予定。